

歓迎の言葉

本日、希望に満ちあふれる新入生の皆さんを九州歯科大学に迎えることができ、この上もない喜びを感じています。歯学部歯学科、口腔保健学科及び大学院歯学研究科に入学した皆さんに対して、九州歯科大学の教職員を代表して、ようこそ九州歯科大学へという歓迎の言葉を贈ります。

さて、現在、九州歯科大学は、二一世紀に入り医療系大学において世界的なレベルでアウトカム基盤型教育が重要視されているなかで、このような教育改編の潮流を歯学部教育にいち早く取り込み、患者優先の考え方に立って歯科医療が行える人材の育成を重要視した教育を展開しています。現在進めている教育改編では、高い倫理観に裏打ちされたヒューマニズムの精神、さらには、自己の利益よりも他者の利益を優先するという利他主義を兼ね備えた歯科医療人養成を第一義に考えた教育を多面的に展開しています。

諸君は、本学のアドミッションポリシーを十分に理解し、将来歯科医療人として社会に貢献するという強い意志と高い志を持って、本学に入学したと信じています。これから先、九州歯科大学における大学生活において、自らを律した生活を送り、本当の意味でのプロフェッションとして社会に貢献するという強い意志を持ち続け、主体的に日々の学修に励んでいただきたいと思っています。しかしながら、これまでの初等・中等教育とは異なり、大学での教育では、初めて出合う学問に戸惑うことも多いかと思えます。そのような時には、教職員からコーチングを受け、常に、夢と希望を失うことなく、社会に貢献する歯科医療人を目指してください。

次に、大学院に入学する学生諸君に申し上げます。どのような学問領域であっても、それを支えているのは研究です。今後、歯学研究科における大学院生として、修士課程及び博士課程で研究生活を送ることになりますが、「無知は罪悪である。その無知な状態から少しでも逃れて、物事を理解しよう、自然や社会に関連する科学、周囲の人や自分自身を理解しようということが、知性なのだ」という言葉をしっかりと胸に刻み込んで、歯科医学に貢献する研究者として、生命科学における高度の研究能力ならびにそれを礎としてオーラルバイオサイエンスに関する豊かな学識を養ってください。

これからの我が国においては、医科と歯科が連携して、生活習慣病を始めとする様々な疾病の重症化予防、地域住民の健康長寿の延伸を目指すということが求められます。平成28年度、本学が福岡県に提案した福岡県重点施策が採択されましたが、このプロジェクトで、口腔保健・健康長寿推進センター(Dental

Center for medically compromised patients;通称 DEMCOP) を開所しました。このセンターでは、地域の歯科医師会と連携協定を結び、地域医療を展開している歯科医師及び歯科衛生士のリカレント教育を行っています。それに加え、製鉄記念八幡病院、ふらて会西野病院、新栄会病院、北九州市立八幡病院との間で教育連携協定を結び、そのもとで学部学生の臨床実習を開始し、医科歯科連携教育を強化しました。このような地域に根差した医科歯科連携教育は、まさに、厚生労働省が推進する「地域包括ケアシステム」の構築に呼応するものです。二一世紀の歯科医療を牽引する学生諸君には、先駆け的な教育を展開する本学で歯学教育を受け、歯科医療界のフロントランナー、そして、新たな医療体制のもとで、public dentist、public dental hygienist として活躍することを切に願っています。

現在、ミャンマーの二つの歯科大学、ヤンゴン校及びマンダレー校、台湾の高雄医科大学、台北医科大学、タイのシーナカリンウイロート大学、ランシット大学、フィンランドのヘルシンキ大学など、海外の大学と教育連携協定を結び、学生と教員の連携を深める国際連携活動を行っています。この活動も年を重ねるごとに充実し、夏季休暇中に、多くの学部学生が本学の「九州歯科大学基金」を活用して海外研修活動を行っています。その一方で、タイ及び台湾から歯学部学生が来学し、本学で研修を行っています。まさに、双方向型の国際連携活動が安定した形で展開されています。さらに、今年度も、タイから一名の留学生を大学院生として迎え、海外連携活動は一層活発になってきました。

むすびに、これまで入学試験という難関突破に向けて力を尽くし、明日から大学で、夢と希望をもって、学修及び研究生活を送る新入生の皆さんに、著名な科学者アインシュタインの名言「過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望をもつ。大切なことは、何も疑問を持たない状態に陥らないことである。Learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow. The important thing is not to stop questioning.」本日、この言葉を贈り、学問に対して常に真摯に、そして、生涯学習を通じて実学を身につけ、患者本位の医療人となるまで、夢に向かって前向きに取り組むことを心から念願して、私の歓迎の言葉とします。

令和2年 4月



九州歯科大学 理事長・学長

西原達次